

参加生徒向け配付資料

11 細則

◎予選用動画作成時の新型コロナウイルス感染拡大予防策について

動画作成の際は以下の点を守って撮影してください。

- ・演奏者同士の間隔を1m以上あける。
- ・演奏者全員の顔が見えるように撮影する。ただし、ボーカルも含め、全員マスクを着用する。
- ・(管楽器等息を入れる楽器は) アクリル板や透明シート等で仕切りを設ける。
- ・演奏者以外が観客席側にいない、また演奏者以外が歓声・声援等を発しない。

◎審査・評価について

以下の場合には受賞対象外(演奏は可能)となる。

※(1)に違反した場合、失格となり動画を公開することはできない。

(1)上記の新型コロナウイルス感染拡大予防策を守らず演奏した。

(2)11月1日エントリーシート提出後の演奏曲の変更とメンバーの追加。

(3)期限を超えてのメンバー変更(※変更とは、傷病等でのメンバーの交代及び減員を指す)

※エントリーシート提出後のメンバー変更可能期間は以下の通り

令和3年10月～12月

月	火	水	木	金	土	日
10/18	19	20 エントリーシート 等提出期限	21	22	23	24 会議・抽選
25	26	27	28	29	30	31
11/8	9	10	11	12	13 13日中まで メンバー変更可	14 動画アップロー ド提出期限
15 動画予選開始	16	17	18	19	20	21
22	23 動画予選終了 予選結果発表	24	25	26	27	28
12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19 決勝ライブ

止むを得ずメンバー変更の場合は期限までに事務局へ申し出ること。

(4)決勝ライブにおいて、本番当日、バンドメンバーが受付時間に遅刻、または欠席

(体調不良、忌引きなどの理由も受賞対象外となる)

※ただし、公共交通機関の大幅な遅延などの場合はこの限りではない

(5) 引率顧問が決勝ライブの本番当日の受付時間に遅刻、または欠席

※引率顧問については同一校の教員であれば代理可

(6) 演奏時間が5分を超える

※演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする。(動画予選においては曲の一音目が鳴り始めてから、曲終了後に最後の音が鳴り終わるまでの時間とする。)

(7) ステージに顧問やコーチ等が上がる。

※出場校の顧問やバンドメンバー以外の生徒がPA業者に直接要望を伝えることはできない。

演奏上の不具合などが発生した場合や、外音の音量バランスについては、PA付近にいる連盟の教員(統括D)に相談できる。

◎ 動画予選におけるブロック分け・決勝ライブにおける演奏順について

・動画予選におけるブロック分けについては主催者がランダムに行う。

ただし、同一団体からの出場バンドが同じブロックにならないよう調整を行うことがある。

・決勝演奏順については予選審査終了後、連盟役員によるくじ引きで公平に決定する。

演奏順の連絡については事務局からの顧問へのメールで行う。

連盟のホームページにも同様に記載するので確認を行うこと。

◎ 機材についての注意

楽器・アンプ・PA機材及びオペレータは様々な企業の協力により借用したものである。使用にあたっては細心の注意を払い、くれぐれも破損、故障等のないようにすること。

※連盟として損害賠償責任保険に加入しているが、故意でない機材、設備の破損の場合でも、損害賠償責任保険で補填できる金額の上限は80万円であり免責金として、1万円を当事者が負担しなければならない。

・ギターアンプ、ベースアンプなどのアンプ類は、電圧がかかったままシールドケーブルを抜き差しするなど、音を出す手順を間違えると、スピーカーにスイッチングノイズ(ボンッ!というような音)が送られて、機材を傷めてしまうことがある。必ず、以下の手順で操作すること。

1. シールドをつなぐ等、セッティングを終わらせてから、電源のスイッチを入れる準備をする。

2. スイッチを入れる前に、ボリュームがゼロであることを確認する。

3. その際、複数のスイッチがある場合は、スピーカーから遠い機材を先にして電源を付ける。

4. ボリュームをあげて、音量を調整する。

※消すときの手順はこの逆になる。

・マイクを振り回したり、息を強く吹きかけたり、叩いたりしないこと。また、網の部分の握ったり、口に斜めに向けたりすると、きちんと音が拾えなくなる。マイクをモニタースピーカーに向けるのは厳禁。なぜなら、ハウリング(キーンという音)を起こす恐れがあるからである。

・ドラムのセッティング(タムの位置やシンバルの高さ・角度など)を変えるときは、必ずネジを緩めてから動かすこと。無理に動かしてしまうと、ネジが利かなくなり位置が固定できなくなる。

- ・「スネア」は各校で持参すること。ドラムを思い切り力任せに叩く生徒を時々見かけるが、決していい音は出ない。ヘッド(打面)を傷めてしまうだけである。また、シンバルが割れないよう大切に扱うこと。
- ・ボリュームを上げたままでジャックを抜き差ししたり接触不良のシールドを使用したりしたときに出る『ガリガリ』という音は、出力が極端に大きい場合に、音響のシステム全てを壊す恐れがある。ボリュームを下げることを忘れないこと。また、ギターやベースからジャックが抜ける事故を防止するため、シールドケーブルをストラップに通すこと。マイクを落としたときなどに発生する音も、同様の事故につながるがあるので十分注意すること。
- ・持参する機材(ギター、ベース、キーボード、シールドケーブル等)は、前日までに接触不良等がないか、必ずチェックしておくこと。ステージが広く、シールドケーブルが短いことで宙に浮く状態は大変危険なので、5m以上の長いものを必ず用意する。(決勝のステージは広いので7m以上を推奨する。)
 - ◎ギターからアンプに直接接続の場合 ⇒ ~~手選5m以上~~、決勝7m以上のケーブルを推奨
 - ◎エフェクター等を使用する場合 ⇒ 5m以上(推奨)のケーブルを2本
 また、エフェクターの電池は新品のものに交換しておく。スティックは複数本用意しておく。なお、ステージに持参した全てのものに必ず記名をすること。
- ・アコースティックギターにピックアップがない場合、マイクで音を拾うこともできるが、音量に限界があり、バンドでの演奏の場合、音が聴こえないなどの問題が起こることがある。(ピックアップの準備を勧める)
- ・キーボードは連盟で用意しない(スタンドのみ準備あり)ので、各自持ち込み(ACアダプタ・シールドも持ち込み)となる。必要に応じてサスティンペダルまで用意すること。なお、原則として出力はフォンとする。また、ステージピアノは連盟で用意をする。

問い合わせ先 埼玉県高等学校軽音楽連盟

連盟 HP <https://keionsaitama.com/>

事務局長 齋藤 教雄

〒330-9330 埼玉県さいたま市浦和区領家 5-3-3 埼玉県立浦和高等学校

TEL. 048-886-3000 FAX. 048-885-4647

E-mail: saitou.norio.16@st.spec.ed.jp

